

1 英語の再帰代名詞の5つの用法

この章では「ほとんどの文法書で扱われていない興味深い点」として「再帰代名詞」を扱います。もちろん句動詞の用法とも関わるものですが、まずは一般的なルールから確認してみます。

英語では再帰代名詞にさまざまな種類の用法があり、5つの用法に分けることができます。

【注】この項では、再帰代名詞を太字の斜体字で表しています。

(1) 強調のため

- John **himself** built that house.
「ジョン自身がその家を建てた」
- I **myself**, and no one else, am responsible for that mistake.
「その間違いに対して責任があるのは私自身で、他の誰も責任がない」

(2) 意味と文法上必須である場合

- I cleaned up the whole room by **myself**. No one helped me.
「私は一人で部屋全部を掃除した。誰も私を手伝ってくれなかった」
- He never thinks of others. He does everything for **himself**.
「彼は決して他人のことを考えない。何でも自分のためにする」
- She looked at the mirror and saw **herself** in it.
「彼女は鏡の中に自分の姿が見えた」
- You will hurt **yourself** if you are not careful.
「注意しないとけがをしますよ」
- The cat licked **herself** as part of her grooming routine.
「その猫はいつもの毛繕いで自分をなめた」
- I introduced **myself** to everyone present.
「私は出席者全員に自己紹介をした」
- If you jump down from there, you will injure **yourself**.

「そこから飛び降りるとけがをします」

- We all enjoyed **ourselves** at the party last night.
(= We all enjoyed the party.)
「昨夜のパーティはみんな楽しかった」

(3) 以下の種類の表現（省略型命令文：意味と文法上～selfが必要とされる）で用いられる場合

- (You must) Make **yourself** at home.
「おくつろぎください」
- Go ahead. (Please) Help **yourself** to anything you want.
「どうぞ、好きなものをおとりください」
- (You must make sure you) Take care of **yourself** when you go abroad.
「気をつけて海外に行ってくださいね」

(4) あってもなくてもよい場合

- He undressed (**himself**) as quickly as possible.
「彼は大急ぎで早く服を脱いだ」
- She came out of the sea, and dried (**herself**).
「彼女は海から出て身体を拭いた」
- When the police came, he hid (**himself**).
「警察が来たとき彼は身を隠した」
- Please pour (**yourself**) a drink.
「自分で飲み物を注いでください」
- The exam is soon. You have to prepare (**yourself**).
「もうすぐ試験です。あなたは準備をしなければなりません」
- Everything is okay. Don't worry (**yourself**).
「大丈夫です。ご心配なく」